

## 平成30年度 第64回指導者会議開催要項

### 個人選手権大会のあり方を考える

#### —検証と課題—

日本学生陸上競技連合では、日本陸上競技界の発展のため、毎年「指導者会議」の名の下、シンポジウムや講演等を通じて競技者の強化に関するさまざまな課題について考えてきました。

過去4回の指導者会議のパネルディスカッション・討論のテーマは次の通りでした。1) 第60回指導者会議(日本学生陸上フォーラム2015)：「2020年東京五輪に向けた日本学連の強化策を考える—いま、何が課題か 夢を語る 未来を語る—」。2) 第61回指導者会議(日本学生陸上フォーラム2016)：日本実業団陸上競技連合と日本学連の相互協力をキーワードとして学生アスリートの就職支援や就職後の練習環境支援に関するテーマ。3) 第62回指導者会議(日本学生陸上フォーラム2017)：リオ代表(オリンピック/パラリンピアン)の現役学生アスリートとベテラン社会人アスリートをパネリストとして迎え、「大きな舞台に出場して見えてきたもの」「学生時代にやっておくべきことは何か」のテーマ。4) 第63回指導者会議(平成29年度ユニバーシアード強化研究会)：「ユニバーシアード競技大会台北2017の検証と今後の課題」。

今回の第64回指導者会議は、上記会議の成果等も参考としながら、日本学連が主催する個人選手権大会に焦点を置きます。会議の目的は、今後の個人選手権大会のあり方を考えるために、中長期的な視点に立ったアジアパーミット大会の開催も視野に入れながら、現状の検証を行って今後の課題を明らかにすることにあります。各演者には検証の視点(注1)と資料(注2)を参考にして発言してもらいます。また進行についてはフロア(指導者や学生幹事ら)も含めて活発な意見交換の場になるように努めます。

注1) 検証の視点：個人選手権の特徴、個人選手権の競技運営2018

注2) 参考資料：個人選手権の歩み、日本ICと個人選手権の関係、IAAFランキング制度、アジアパーミット大会

#### 記

1. 主 催 公益社団法人日本学生陸上競技連合
2. 日 時 2019年(平成31年)3月9日(土) (理事会終了後)：  
受付 15:00~15:30、会議 15:30~17:00 (90分)
3. 会 場 中央大学駿河台記念館 670号
4. 対 象 日本学生陸上競技連合関係者(地区学連、加盟校等)、陸上競技愛好者(大学等)
5. 定 員 120名
6. 司 会 障子 恵 氏(跡見学園女子大学、学生連合：理事・総務委員長・指導者会議運営委員)
7. コーディネーター 船原 勝英 氏(共同通信社、学生連合：指導者会議運営委員)
8. 演 者 (順不同)  
宮崎芽衣 氏(日本女子体育大学、学生幹事長)  
二見百香 氏(日本体育大学、学生副幹事長)  
栗山佳也 氏(大阪体育大学、学生連合：常務理事・強化委員長)  
関根春幸 氏(東京都立世田谷総合高等学校、学生連合：常務理事・競技委員長)

以 上